

令和6年度 岡崎市立額田中学校 部活動にかかる活動方針

1 本校の現状

- ・部活動を楽しみにしている生徒が多く、保護者の理解を得ながら活動している。
- ・校地や施設が広いため、活動環境は充実している。
- ・閉寮に伴い、毎日スクールバスを利用する生徒が約60名（全校生徒の約1/3）いる。
- ・スクールバスを利用する生徒がいるため、全員参加を原則とせざるを得ない。
- ・閉寮に伴って職員の数も減り、担当できる部活動顧問の人数が減った。

2 本校における課題

- ・学区が広く、保護者送迎で部活動に参加している生徒がいる。
- ・練習試合や大会は、保護者送迎を依頼するなど、保護者の協力を得る必要がある。
- ・小規模中学校で、生徒数、教職員数が少なく、生徒数に対して部活動の数が多。

3 具体的な活動方針

(1) 部活動経営について

- ・学校は適切な部活動運営を組織的に行うため、指導・運営体制を適宜整備する。
- ・校長は、部活動の目標等を策定し、「生きる力」を育成する部活動を運営する。
- ・顧問は、生徒の自主性、社会性を育成する部活動経営をする。

(2) 活動量（休養日や活動時間等）について

ア 平日

- ・活動日は、月・金以外の週3日とし、活動時間は、週4時間以内とする。
- ・12月と1月は部活動を行わない。

イ 休日（週休日及び祝日）

- ・土日のいずれかは、原則「休業日」とし、両日ともに練習日としない。
- ・毎月「第3日曜日<家庭の日>」は、原則、年間を通して「休業日」とする。
- ・活動時間は3時間程度とし、長時間〔終日〕練習はしない。

ウ 長期休業中

- ・土日については、原則活動しない。
- ・活動時間は3時間程度とし、長時間〔終日〕練習はしない。

4 その他

(1) 保護者及び地域との連携

- ・保護者からの理解を得るために、年間及び月間等の活動計画を作成する。
- ・部員の引率や試合中における直接的な指導が行える（ベンチ入りできる等）、部活動指導員の人数を増やす（部活動指導員のいない部活につける）。

(2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設、設備、道具について安全点検を実施し事故防止に努める。
- ・熱中症を予防するために WBGT 値に留意し、生徒の健康管理を徹底する。
※WBGT とは、湿球黒球温度の略。人体の熱収支に影響の大きい湿度、放射熱、気温の三つを採り入れた指標。高温の下での作業やスポーツなどの時、暑さや熱による障害を防ぐために使われる。この値が大きい場合、仕事やスポーツを休止することが望ましい。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、顧問不在の中で活動しない。
- ・事故が発生した場合には、速やかに管理職、顧問で事故原因を分析する。